

令和7年9月号

川越セントノア病院 〒350-1155 埼玉県川越市下赤坂290-2  
TEL049-238-1160 FAX049-238-1162 <https://www.saintnoah-kawagoe.jp>



# ノアの爽風



～目次～

● 病院短信『コミュニケーション』

3病棟 看護師長

● 介護だより

● 作業療法だより

● 日常の一コマ

● 『ナナ水浴び』

主演 ナナ

## 9月の予定

◆ 誕生日会（敬老会）

1病棟: 12日（金）14:15～

2病棟: 11日（木）14:00～

3病棟: 10日（水）14:00～

各病棟にて



## すいか割り&かき氷



大きく振りかぶって～♥よいしょっ(´ー´)ノ



お見事!!



瞑想に入りました”(-“-)”



食べられないすいかも真っ二つ!!



シロップたっぷり(\*^\*)v



美味し～! 冷たい～♡\_♡



暑い夏にかき氷を食べて笑顔いっぱいになりました!(^\_^)!



## 病院短信

3病棟 看護師長

### 『コミュニケーション』

今年も9月は厳しい残暑が予想されています。本来なら暑さもやわらぎ過ぎしやすい日々となりますが、まだまだ熱中症対策が欠かせない時期が続くようです。患者さんに安心して過ごしてもらうためには、身体的ケアだけではなく心のケアも必要です。

そのためにまず、今年度の3病棟の目標は「チームワークを大切に、患者さん主体の優しい対応をしよう」としました。チームワーク向上に不可欠なのはコミュニケーションです。コミュニケーションとは「伝える」「分かち合う」とあるいは「共有する」という意味のラテン語「communicare」からきた言葉で、言葉・文字、その他視覚・聴覚に訴える身振り・表情・声などの手段によって、人間が互いに感情や思考などを伝達し共有することを指すそうです。コミュニケーション能力に必要な力は、自分が考えている事や伝えたい事を相手に正確に分かりやすく伝える力・相手が伝えたい事をしっかりと理解し、相手の言葉に真摯に耳を傾け、しっかりと理解しようとする聴く力・表情や身振



り手振り、声のトーンなど言葉では伝わらない微妙なニュアンスなどの非言語による表現を読み解く力。この3つに留意していれば、お互いを誤解することなく風通しの良い職場となり、より良いケアが出来るはずです。近年ではAIが発達し私の家族もチャットGPTに聞いてみようという便利に使用しています。昔のように、辞書や図鑑で調べ、その周囲の言葉に引っ掛かり、横道に逸れてしまうということが少なくなったような気がします。今後、看護・介護でもAIの活用が進んでいくと思います。しかし、AIでは難しいことの一つに、人間の感情を理解し、気持ちを汲み取るということです。患者さんの言葉に耳を傾け、言葉の裏側まで読み取るなど、人間にしかできないことがあります。目標達成に近づくよう、コミュニケーション能力向上に留意しながら、ケアをしていこうと思います。

## 介護だより

まだまだ暑い日が続きますね。夏から秋にかけて「秋バテ」と呼ばれる体調不良が起こりやすい季節です。夏の疲れや気温の変化・自律神経の乱れなどが原因で様々な不調が現れることがあります。疲労感・倦怠感・食欲不振・イライラ・消化器系の不調・不眠などがあります。食生活の見直しや生活リズムの改善・温浴・休息など自分なりの方法で体調を崩さないように対策をして、無理のないよう過ごしていきたいと思います。

お花に水あげるから邪魔しないでよ ☆

1

ナナ水浴び

うっ、うん、(´ω´)/

ぼれっ

ひえっ(´Д`)快〜感

3

水ください。(´0´)/

2

しょうがないな "(-"-)"

びしょぬれだ〜(ToT)/~~~

4

楽し〜(´0´)/

番外編

今月のナナ

ナナちゃん、大好きな水浴びだよ♡ 気持ちいいね♡ ナナちゃんの水浴びの時、すごくはしゃぎます(\*´ω`\*)V

## 日常のーコマ

今月は1病棟の征夫さん（85歳）です。

征夫さんは新潟県出身で5人兄弟の4番目として生まれました。中学校卒業後に上京し、何回かの転職の後、市役所でお勤めされていました。33歳の頃にご結婚され、長男さんがお一人いらっしゃいます。長男さんのお話では、自転車の乗り方を教えてもらったり、他にもソフトボールや河原に遊びに連れて行ってもらったそうです。また、民謡を習っていて発表会にもよく出ていたそうです。40代頃から徐々に視力が落ちていくという難病にかかっていますが、通院しながら定年まで勤め上げてその後は自宅で療養していました。81歳頃から会話が無くなり、下を向いていることが多くなりうつ病のような症状が出始めました。84歳の時にご家族も気付かぬうちに頭部をケガされ、傷を縫う処置を受けました。その頃から物忘れや拒否といった認知症の症状が出始め、在宅での生活が難しくなり、他の病院を経て令和6年8月に当院に入院されました。入院後は、普段は閉眼されていることが多いですが、声掛けした時に時々目を開け、素敵な表情を見せてくれます。また、「おはよう」とあいさつも返してくれます。お食事も全介助ですが全量召し上がり、若い頃は大食漢だったそうで、その食べっぷりは今も健在です。これからも穏やかに、そして食事を美味しく召し上がれるようお手伝いしていきたいと思います。



## 作業療法だより

今年も暑い夏が続いています。当院の院庭では今季もたくさんのお花や野菜を育てることが出来ました！草花の成長を楽しむ方、収穫した野菜を食べて楽しむ方、中には草むしりの達人も・・・!!!みなさんそれぞれの楽しみ方で参加されています。次の収穫は秋のサツマイモです！

